

令和4年度事業報告

1 総会の開催

令和4年4月25日（月）、オンラインにより関東ICT推進NPO連絡協議会（以下、第1号議案においては「NPO協議会」という。）第19回定期総会を開催し、106会員のうち67会員が出席（委任状参加49会員含む）、「令和4年度総会議案書」のとおり決定しました。

2 幹事会等の開催

(1) 幹事会

計3回開催し、フォーラム等の内容や地域活動支援事業に関する事項等を決定しました。また、協議会のあり方について検討を行い、よりよい協議会運営について議論を重ねました。

	月日	場所	議題
第1回	1月26日（木）	オンライン開催	(1) 報告事項 ア 終了案件（1件） (2) 審議事項 ア 事業提案（1件） (3) その他 ア 協議会新ホームページ イ 協議会のあり方検討
第2回	4月13日（木）	オンライン開催	(1) 審議事項 ア 協議会のあり方検討
第3回	5月18日（木）	オンライン開催	(1) 報告事項 ア 終了案件（1件） イ 協議会のあり方検討 (2) 審議事項 ア 来年度の協議会としての事業 イ 令和4年度事業報告（案）及び 令和5年度事業計画（案） ウ 令和5年度の役員について (3) その他 ア 令和5年度総会について

(2) 幹事作業部会

今年度は、協議会の在り方を検討する会を設けたことから、幹事作業部会は開催しませんでした。また、「今後の協議会の在り方」について、幹事で意見交換会（オンライン）を3回開催しました。

（第1回2022年11月10日、第2回2022年11月25日、第3回2023年1月19日）

(3) 協議会の在り方検討会

コロナ禍で急速に普及した ICT の利活用の状況を踏まえ、協議会そのものの在り方についての検討を行うと共に、事務作業等の役割分担について議論しました。

①事務局作業の役割分担

小保方幹事（ジョブラボぐんま）が担当

②情報発信の役割

丸山幹事（NPO 法人地域資料デジタル化研究会）が担当

<http://ictnpo.org/>

3 広域連携事業

(1) 地域 NPO 連携交流会

令和 4 年度は実施しませんでした。

(2) 課題・テーマ別勉強会

勉強会については、協議会の在り方を検討する意見交換会を設けたことから、令和 4 年度は実施しませんでした。

4 地域活動支援事業

(1) ICT 東京フォーラム 2022 「デジタル時代の生き方～ICT スキルを身につければ鬼に金棒～」

(主 催) ICT 東京フォーラム実行委員会

(共 催) 総務省関東総合通信局、関東 ICT 推進 NPO 連絡協議会、調布市、
国立大学法人電気通信大学、

(後 援) 調布市商工会

(協 賛) (一社) 手話言語等の多文化共生社会協議会

(協 力) NPO 法人調布市民放送局

(開催日) 令和 4 年 11 月 27 日 (日) 14:00～17:00 ※オンライン開催

(概 要) 行政のデジタル変革をはじめ、電子マネーの導入促進、小中学生へのタブレット PC の配布など、社会全体が急速にデジタル化に向かっている。このような社会的変化に対して、デジタルリテラシーに欠ける高齢者が取り残されることが懸念されている。スマートフォン教室などによるリテラシー向上の施策も行われているが、新しいことに自発的に挑戦する意欲をもつことが健康寿命を延ばす上でも重要である。また、SDGs の実現からも障がい者が取り残されないようにする ICT の活用も重要である。

このフォーラムでは、デジタルに意欲的に挑戦している若宮正子氏をはじめデジタルリテラシー向上や ICT の活用に関わる活動をしている方々による講演と事例紹介、および対話を通して ICT 活用を促進することを目的とする。

(参加者) 102 名

(2) ジョブラボシンポジウム 2023 「地域で取り組む DX 人材の活用に向けて」

(主 催) 一般社団法人ジョブラボぐんま

(共 催) 共催者: 総務省関東総合通信局、関東 ICT 推進 NPO 連絡協議会、
DXfromKumamoto

(後 援) 群馬県、高崎市、桐生市、桐生信用金庫、有限責任監査法人トーマツ

(開催日) 令和5年3月21日(火) ※ハイブリット開催

(概 要) ICT・デジタルの利用は、コロナ禍で急速な広がりを見せた。それにより企業や地域のICT利活用・DX推進人材育成が進められた。ジョブラボぐんまでは、2020年よりスタートしたイノベーション創発講座を通じ、地域内で取組む人材育成の仕組み作りを目指してきた。本シンポジウムでは、その取組みによって、新結合によるイノベーションを促す人材(コネクター)がどのように生まれ、地域や企業の課題解決や新規事業にどのように関わったかを共有するとともに、今後の社会変革の中で、スピーディーかつスムーズに実現する方法について考えた。

(参加者) 81名(オンライン71名、現地参加10名)

5 普及啓発活動

(1) ホームページの活用

NPO 協議会の新ホームページの立ち上げを行いました。ホームページの作成は、丸山幹事の協力のもと実施しています。

- ・ドメイン名の取得：ジョブラボぐんまにて取得 ictnpo.org
- ・レンタルサーバ：地域資料デジタル化研究会のサーバをマルチドメインの一つとして運用(エックスサーバ)
- ・ウェブサイトURL：<https://ictnpo.org/> (WordPressにて運用)

(2) リーフレットの活用

現在、作成済みのリーフレットは9種類あります。ホームページに掲載するとともに、ダウンロードして配布用にプリントアウトすることができます。

【リーフレットの種類】

関東共通版、茨城県版、栃木県版、群馬県版、埼玉県版、千葉県版、東京都版
神奈川県版、山梨県版

(3) 会員の拡大

令和4年度中の新規加入等はありませんでした。会員数は、106団体・個人です。

(正会員：70 準会員：36 令和5年3月末日現在)

以 上